

**TOYO TIRES**

**2022年度第2四半期  
決算説明資料**

2022年8月10日

**TOYO TIRE 株式会社**

**1. 2022年度 第2四半期実績**

2. 2022年度 通期業績予想

3. トピックス

- 米国工場の稼働率回復と旺盛な需要を背景に、**北米市場向け販売が引き続き好調**
- 営業利益**260**億円は、前四半期に公表した**業績予想と同水準**で着地
- 為替の円安効果をすべて反映した経常利益は**385**億円、純利益は**310**億円とそれぞれ**上期（1-6月）では過去最高\***を記録
  - \*従来の上期最高経常利益 : 292億円（2021年度）
  - 従来の上期最高純利益 : 207億円（2021年度）
- 上期実績と下期見通しを踏まえ、**通期経常利益予想**を 530→**600**億円へ  
投資有価証券の売却益を見込み、**当期純利益予想**を 385→**530**億円へ 上方修正
- 1株あたり配当金を、**期末**40円→**50**円、**年間**70→**80**円へ 増配

# 2022年度第2四半期累計 連結業績

**TOYO TIRES**

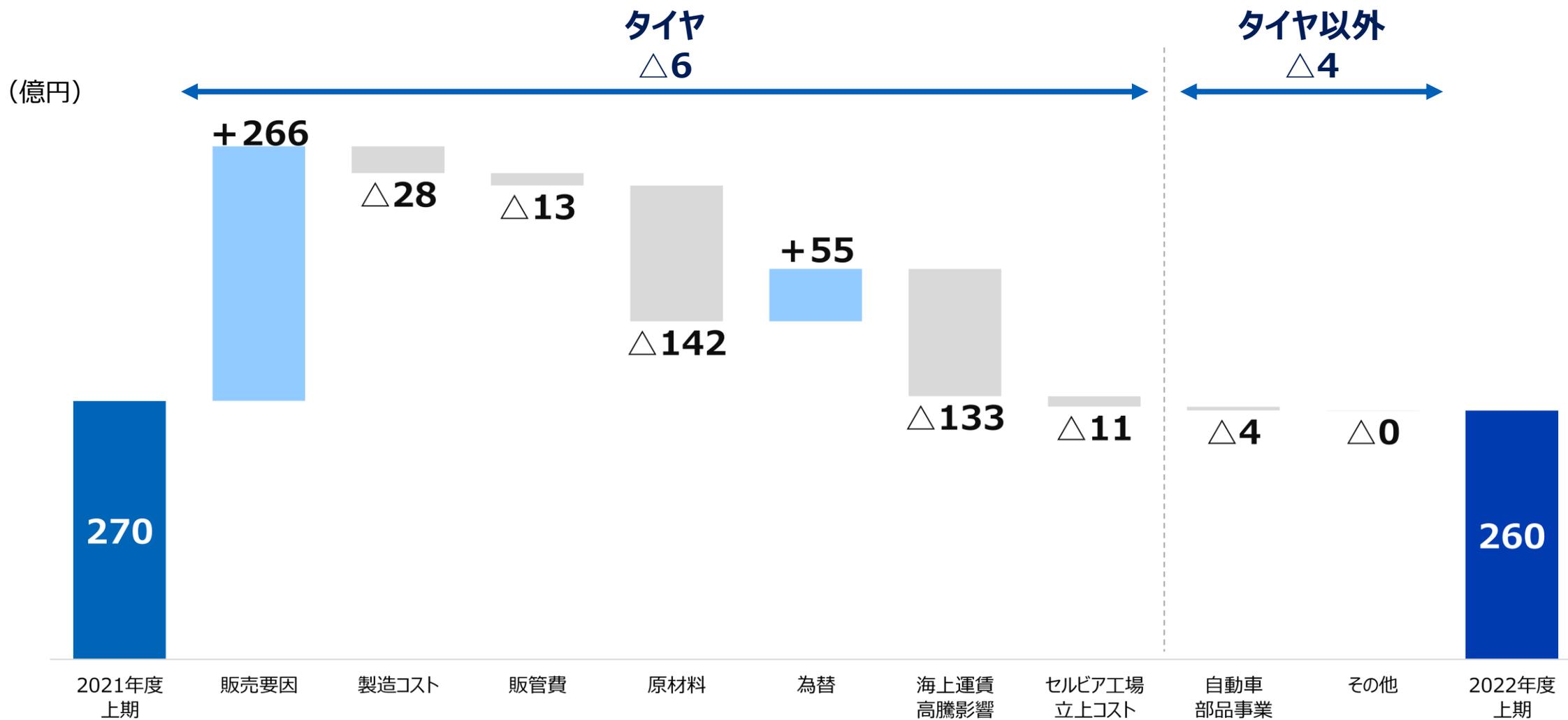
(百万円)	2022年度 上期実績	2021年度 上期実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 上期予想	対予想 増減額	2022年度 4-6月実績	対前年度 増減額
売上高	<b>223,667</b>	186,392	+ 37,274	+ 20.0%	219,000	+ 4,667	121,893	+ 23,245
営業利益	<b>25,972</b>	26,958	△985	△3.7%	26,500	△528	9,799	△4,455
営業利益率	<b>11.6%</b>	14.5%	—	—	12.1%	—	8.0%	—
経常利益	<b>38,509</b>	29,219	+ 9,289	+ 31.8%	30,000	+ 8,509	17,979	+ 4,766
経常利益率	<b>17.2%</b>	15.7%	—	—	13.7%	—	14.7%	—
四半期純利益	<b>31,030</b>	20,673	+ 10,356	+ 50.1%	24,000	+ 7,030	13,232	+ 4,712

※四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

1株あたり 中間配当金	<b>30円</b>	20円	+ 10円	—
----------------	------------	-----	-------	---

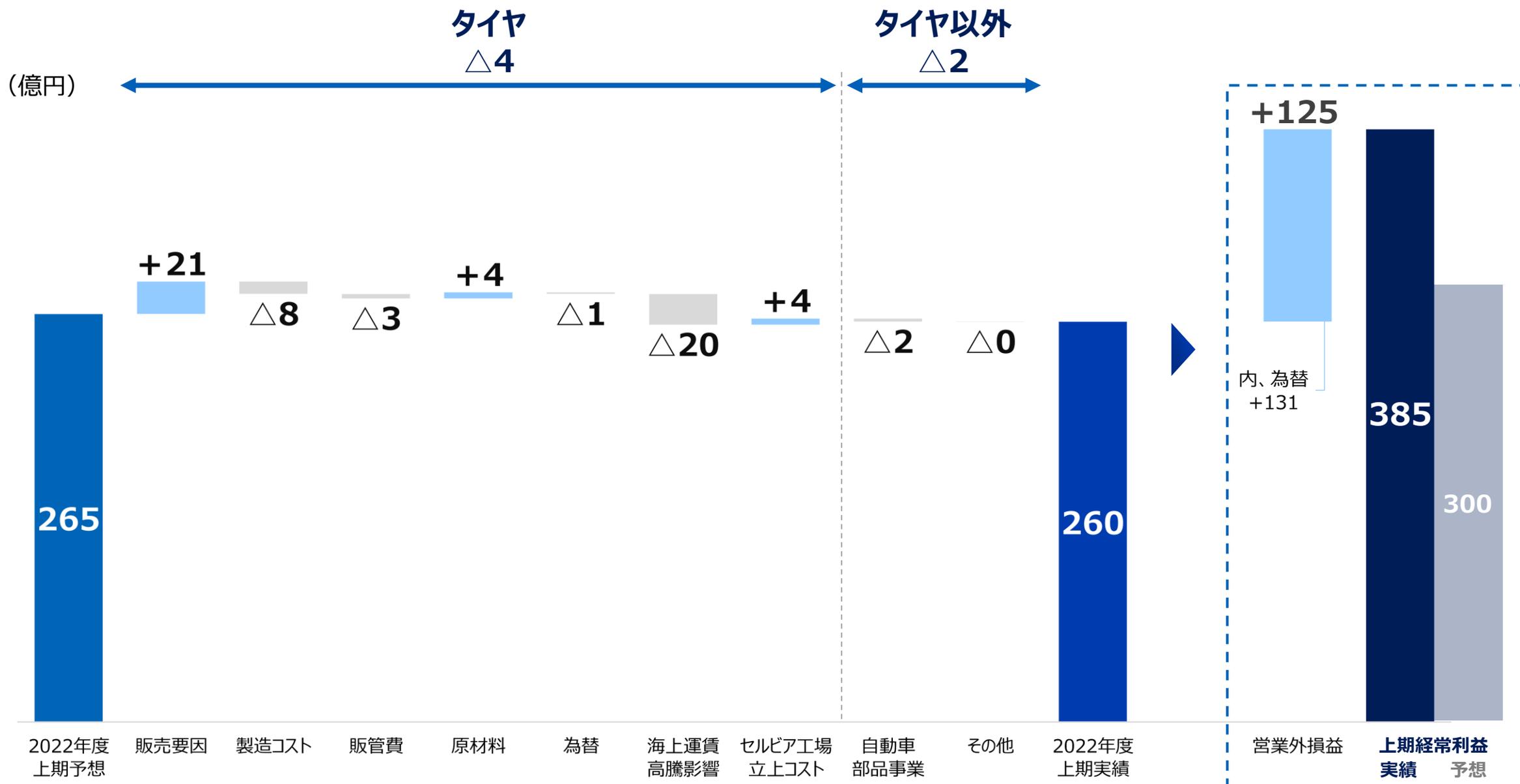
米ドル	<b>122円</b>	107円	+ 15円
ユーロ	<b>132円</b>	130円	+ 2円

# 2022年度第2四半期累計 営業利益増減要因（前年度比）



	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃 高騰影響	セルビア工場 立上コスト	自動車 部品事業	その他	合計
1-3月実績	+157	△11	△7	△70	+29	△59	△6	△0	+0	+35
4-6月実績	+108	△18	△6	△72	+25	△74	△5	△4	△0	△45

# 2022年度第2四半期累計 営業利益増減要因 (前回予想比)



# 2022年度第2四半期累計 事業セグメント別情報

(百万円)

売上高	2022年度 上期実績	2021年度 上期実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 上期予想	対予想 増減額	2022年度 4-6月実績	対前年度 増減額
タイヤ	203,936	166,488	+37,448	+22.5%	198,000	+5,936	112,335	+23,589
自動車部品	19,721	19,884	△163	△0.8%	21,000	△1,279	9,552	△340
その他	31	47	△15	△34.0%	0	+31	15	△4
調整額	△22	△28	+5	-	0	△22	△11	0
合計	223,667	186,392	+37,274	+20.0%	219,000	+4,667	121,893	+23,245

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

営業利益	2022年度 上期実績	2021年度 上期実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 上期予想	対予想 増減額	2022年度 4-6月実績	対前年度 増減額
タイヤ	27,332	27,888	△555	△2.0%	27,700	△368	10,661	△4,036
営業利益率	13.4%	16.8%	△3.3%	-	14.0%	-	9.5%	-
自動車部品	△1,354	△938	△415	-	△1,200	△154	△859	△400
営業利益率	△6.9%	△4.7%	△2.1%	-	△5.7%	-	△9.0%	-
その他	△2	16	△18	-	0	△2	0	△20
調整額	△3	△7	+4	-	0	△3	△1	+1
合計	25,972	26,958	△985	△3.7%	26,500	△528	9,799	△4,455

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

# 2022年度第2四半期累計 所在地別セグメント情報

(百万円)

売上高	2022年度 上期実績	2021年度 上期実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 上期予想	対予想 増減額	2022年度 4-6月実績	対前年度 増減額
日本	45,617	47,452	△1,835	△3.9%	48,500	△2,883	22,460	△1,167
北米	147,117	109,035	+38,082	+34.9%	139,800	+7,317	84,072	+23,873
その他	30,932	29,903	+1,028	+3.4%	30,700	+232	15,360	+539
消去または全社	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	223,667	186,392	+37,274	+20.0%	219,000	+4,667	121,893	+23,245

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

営業利益	2022年度 上期実績	2021年度 上期実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 上期予想	対予想 増減額	2022年度 4-6月実績	対前年度 増減額
日本	13,175	15,745	△2,570	△16.3%	15,200	△2,025	6,229	△1,805
北米	10,426	8,104	+2,321	+28.7%	9,100	+1,326	5,086	+487
その他	2,567	2,710	△142	△5.3%	1,500	+1,067	867	△278
消去または全社	△196	397	△594	—	700	△896	△2,384	△2,860
合計	25,972	26,958	△985	△3.7%	26,500	△528	9,799	△4,455

1. 2022年度 第2四半期実績

**2. 2022年度 通期業績予想**

3. トピックス

(百万円)	2022年度 通期予想	2021年度 通期実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 通期予想 (前回)	対前回予想 増減額	2022年度 下期予想	対前年度 増減額
売上高	500,000	393,647	+106,352	+27.0%	485,000	+15,000	276,332	+69,077
営業利益	50,000	53,080	△3,080	△5.8%	50,000	±0	24,027	△2,095
営業利益率	10.0%	13.5%	—	—	10.3%	—	8.7%	—
経常利益	60,000	55,909	+4,090	+7.3%	53,000	+7,000	21,490	△5,199
経常利益率	12.0%	14.2%	—	—	10.9%	—	7.8%	—
当期純利益	53,000	41,350	+11,649	+28.2%	38,500	+14,500	21,969	+1,292

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

1株あたり 年間配当金	80円	76円	+4円	—
米ドル	128円	110円	+18円	
ユーロ	135円	130円	+5円	

中計'21  
重要経営指標

連結営業利益率 **14%超**

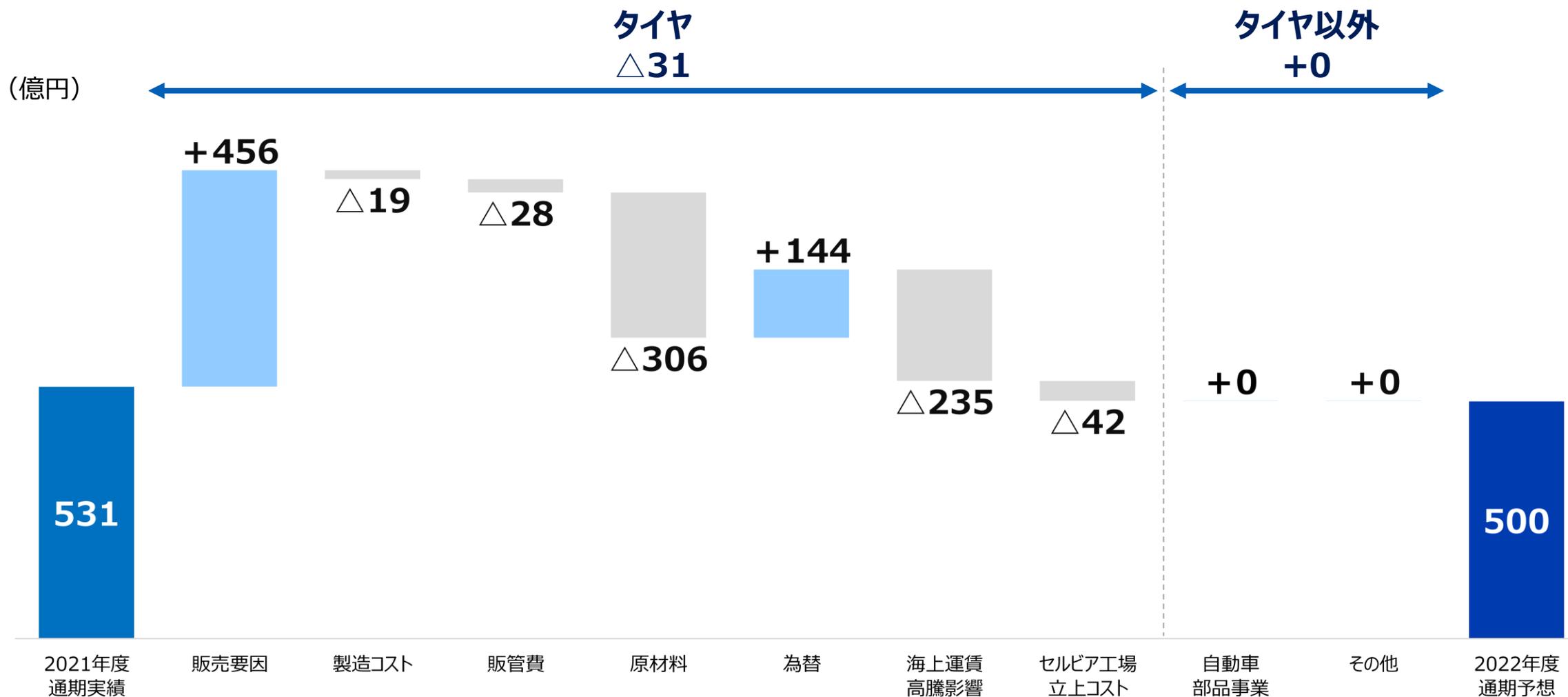
配当方針 (配当性向) **30%以上**

通期為替感応度  
(営業利益ベース、1円の円安につき)

米ドル **7.0億円/年**

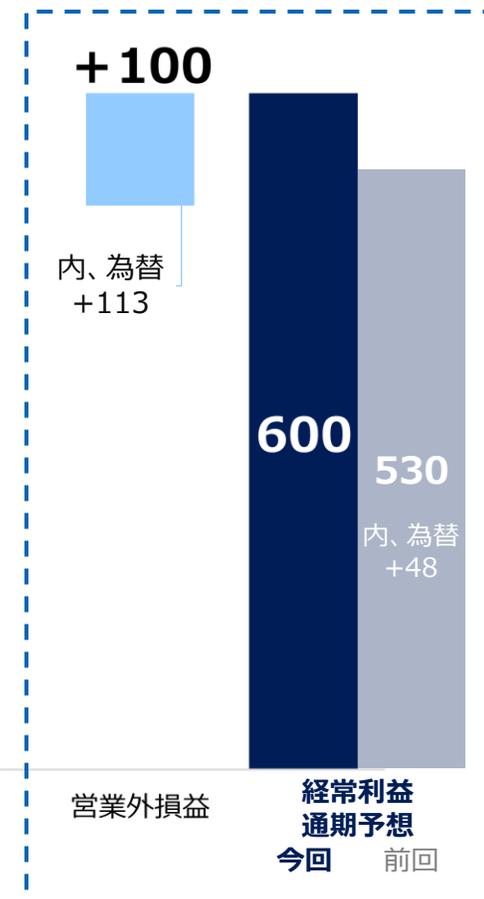
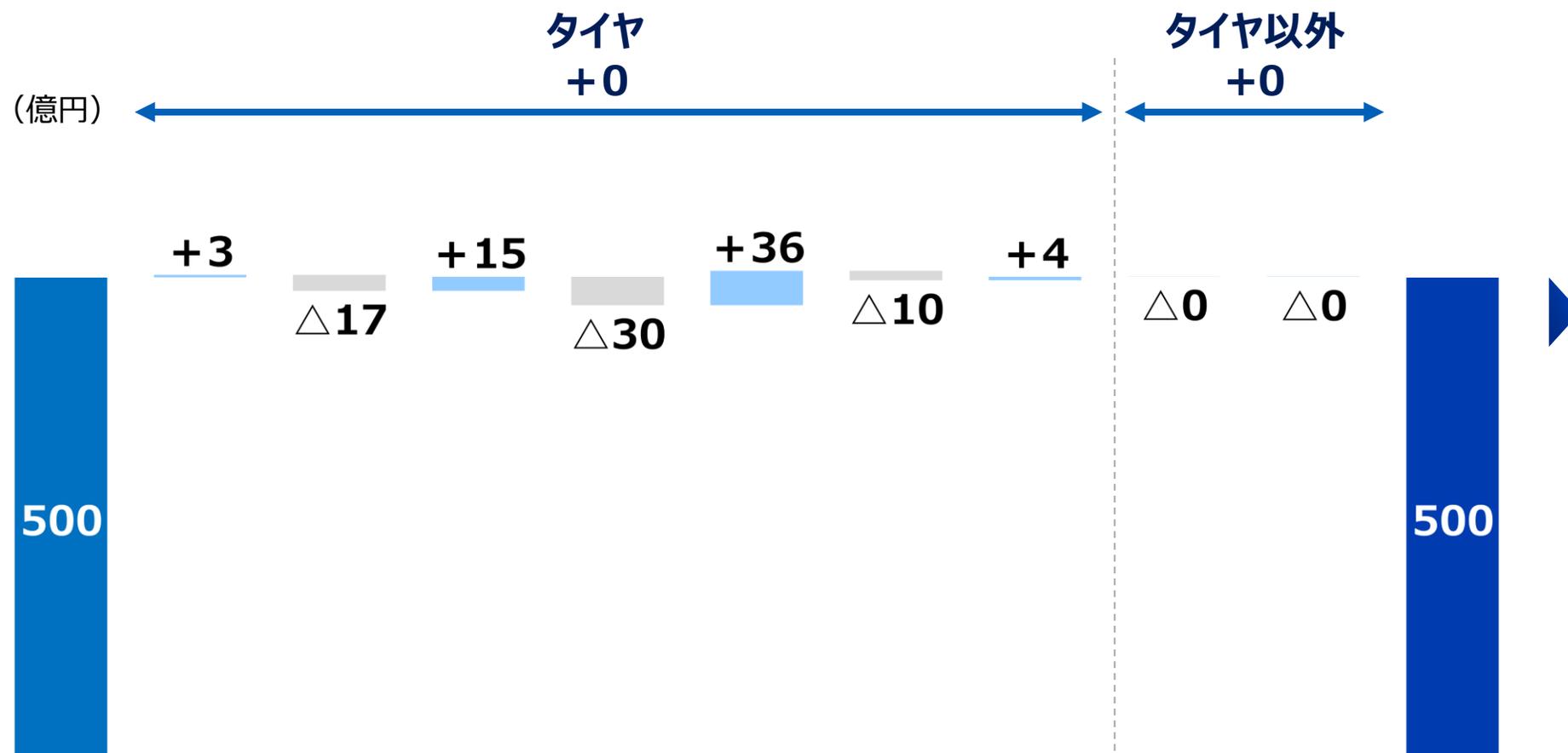
ユーロ **1.0億円/年**

# 2022年度通期 営業利益増減要因予想 (前年度比)



2021年度下期実績	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃高騰影響	セルビア工場立上コスト	自動車部品事業	その他	2022年度下期予想
261	+190	+9	△16	△164	+89	△103	△32	+4	0	240

# 2022年度通期 営業利益増減要因予想（前回予想比）



2022年度下期予想 (前回)	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃高騰影響	セルビア工場立上コスト	自動車部品事業	その他	2022年度下期予想
235	△18	△9	+18	△34	+37	+10	△0	+2	0	240

(百万円)	2022年度 通期予想	2021年度 通期実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 通期予想 (前回)	対前回予想 増減額	2022年度 下期予想	対前年度 増減額
<b>売上高</b>								
タイヤ	456,000	354,641	+101,358	+28.6%	440,000	+16,000	252,063	+63,910
自動車部品	44,000	38,979	+5,020	+12.9%	45,000	△1,000	24,278	+5,184
その他	0	79	△79	—	0	0	△8	△41
調整額	0	△51	+51	—	0	0	0	+23
合計	500,000	393,647	+106,352	+27.0%	485,000	+15,000	276,332	+69,077

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

	2022年度 通期予想	2021年度 通期実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 通期予想 (前回)	対前回予想 増減額	2022年度 下期予想	対前年度 増減額
<b>営業利益</b>								
タイヤ	52,000	55,089	△3,089	△5.6%	52,000	±0	24,667	△2,534
営業利益率	11.4%	15.5%	—	—	11.8%	—	9.8%	—
自動車部品	△2,000	△2,008	+8	—	△2,000	±0	△645	+423
営業利益率	△4.5%	△5.2%	—	—	△4.4%	—	△2.7%	—
その他	0	14	△14	—	0	±0	2	+4
調整額	0	△15	+15	—	0	±0	3	+11
合計	50,000	53,080	△3,080	△5.8%	50,000	±0	24,027	△2,095

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

# 2022年度通期 所在地別セグメント情報

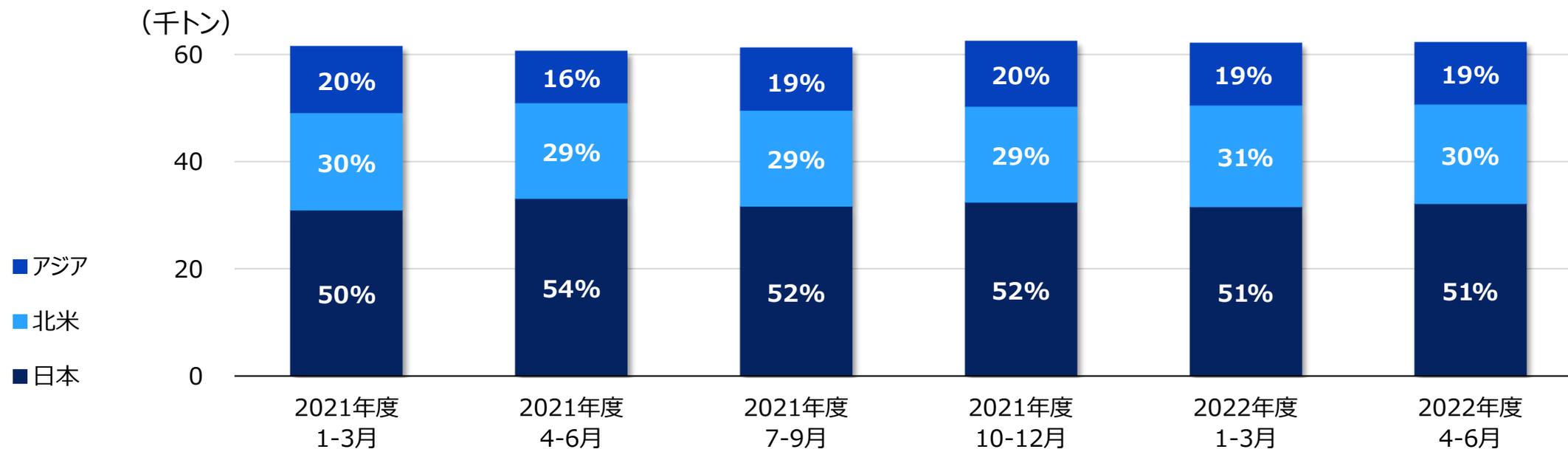
(百万円)

売上高	2022年度 通期予想	2021年度 通期実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 通期予想 (前回)	対前回予想 増減額	2022年度 下期予想	対前年度 増減額
日本	115,800	104,168	+11,631	+11.2%	116,500	△700	70,182	+13,467
北米	319,500	229,318	+90,181	+39.3%	305,800	+13,700	172,382	+52,099
その他	64,700	60,161	+4,538	+7.5%	62,700	+2,000	33,767	+3,510
消去または全社	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	500,000	393,647	+106,352	+27.0%	485,000	+15,000	276,332	+69,077

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

営業利益	2022年度 通期予想	2021年度 通期実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 通期予想 (前回)	対前回予想 増減額	2022年度 下期予想	対前年度 増減額
日本	27,400	28,942	△1,542	△5.3%	32,200	△4,800	14,224	+1,027
北米	19,700	17,057	+2,642	+15.5%	19,500	+200	9,273	+321
その他	2,300	4,920	△2,620	△53.3%	△900	+3,200	△267	△2,478
消去または全社	600	2,159	△1,559	—	△800	+1,400	+796	△965
合計	50,000	53,080	△3,080	△5.8%	50,000	±0	24,027	△2,095

## 地域別生産量構成比

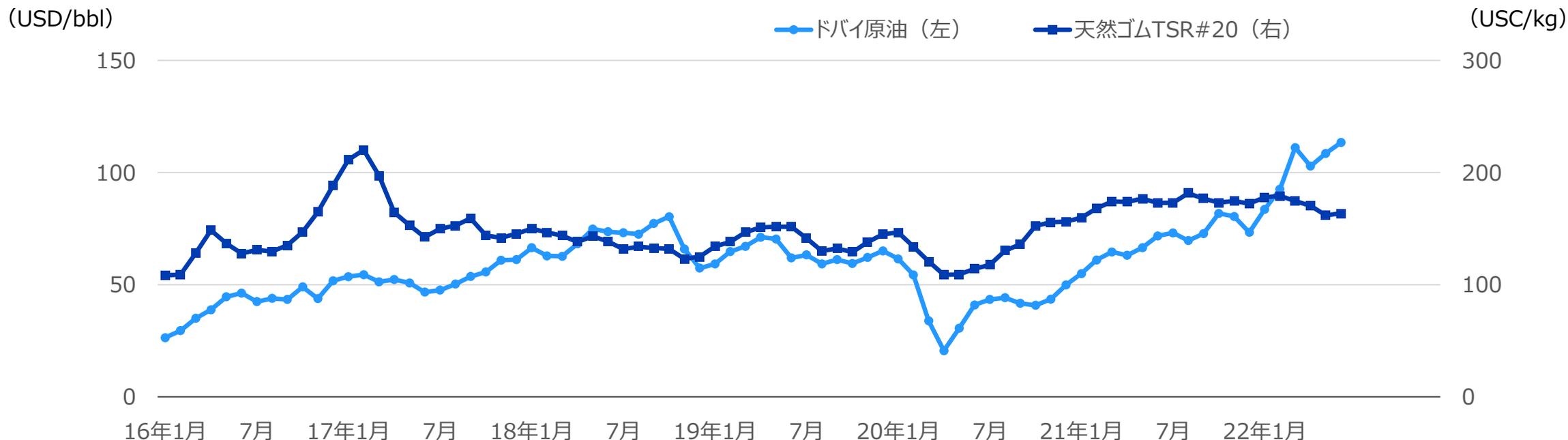


	2021年度					2022年度			2022年度 上期予想	2022年度 通期予想	2022年度 通期予想 (前回)
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	通期	1-3月	4-6月	上期			
日本	30.9	33.0	31.6	32.3	127.7	31.5	32.0	63.5	63.9	129.8	129.7
北米	18.2	17.9	17.9	17.9	71.9	19.0	18.6	37.6	38.8	78.1	79.9
アジア	12.4	9.7	11.7	12.2	46.0	11.7	11.6	23.2	23.5	46.2	48.3
欧州	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.7	2.7
<b>合計</b>	61.5	60.6	61.2	62.4	245.7	62.1	62.2	124.3	126.1	256.9	260.6
前年比率	107%	176%	108%	98%	116%	101%	103%	102%	103%	105%	106%

※前年同期間を100とした場合の前年比率

(%)	2021年度					2022年度			2022年度 通期予想	2022年度 通期予想 (前回)
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	1-3月	4-6月	上期		
国内外新車	103	210	76	86	104	87	95	<b>91</b>	<b>111</b>	120
国内市販	108	105	97	103	103	102	96	<b>99</b>	<b>105</b>	104
海外市販	101	133	87	102	103	95	97	<b>96</b>	<b>99</b>	98
北米	125	133	93	104	111	107	108	<b>107</b>	<b>110</b>	111
欧州	74	163	76	123	97	81	70	<b>76</b>	<b>76</b>	74
東南アジア	76	92	46	66	68	78	108	<b>92</b>	<b>88</b>	81
合計	102	135	87	99	103	95	97	<b>96</b>	<b>102</b>	102

## ドバイ原油・天然ゴムTSR#20価格推移 (SICOM)



## 価格変動影響額 (営業利益ベース)

(億円)

	2021年度					2022年度			2022年度 通期予想	2022年度 通期予想 (前回)
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	1-3月	4-6月	上期		
天然ゴム	△6	△12	△16	△13	△47	△1	△2	△3	△1	△7
石化品	+4	△19	△43	△52	△110	△39	△44	△83	△198	△169
その他原材料	+1	△7	△10	△17	△33	△30	△26	△56	△107	△99
<b>合計</b>	<b>△2</b>	<b>△37</b>	<b>△70</b>	<b>△81</b>	<b>△190</b>	<b>△70</b>	<b>△72</b>	<b>△142</b>	<b>△306</b>	<b>△275</b>

## 設備投資

**2022年度計画**

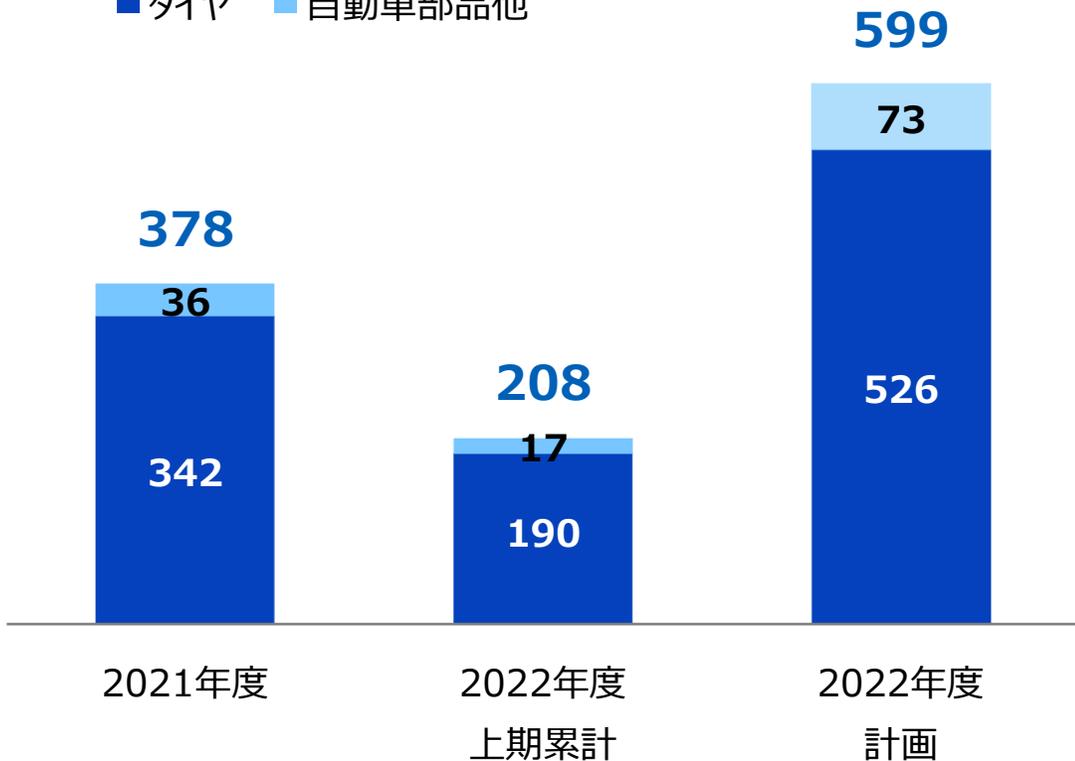
**設備投資額：599億円**

---

第2四半期時点実行率 = **34.7%**  
(内、タイヤ：36.1%/自動車部品他：23.3%)

(億円)

■ タイヤ ■ 自動車部品他



## 減価償却費

**2022年度計画**

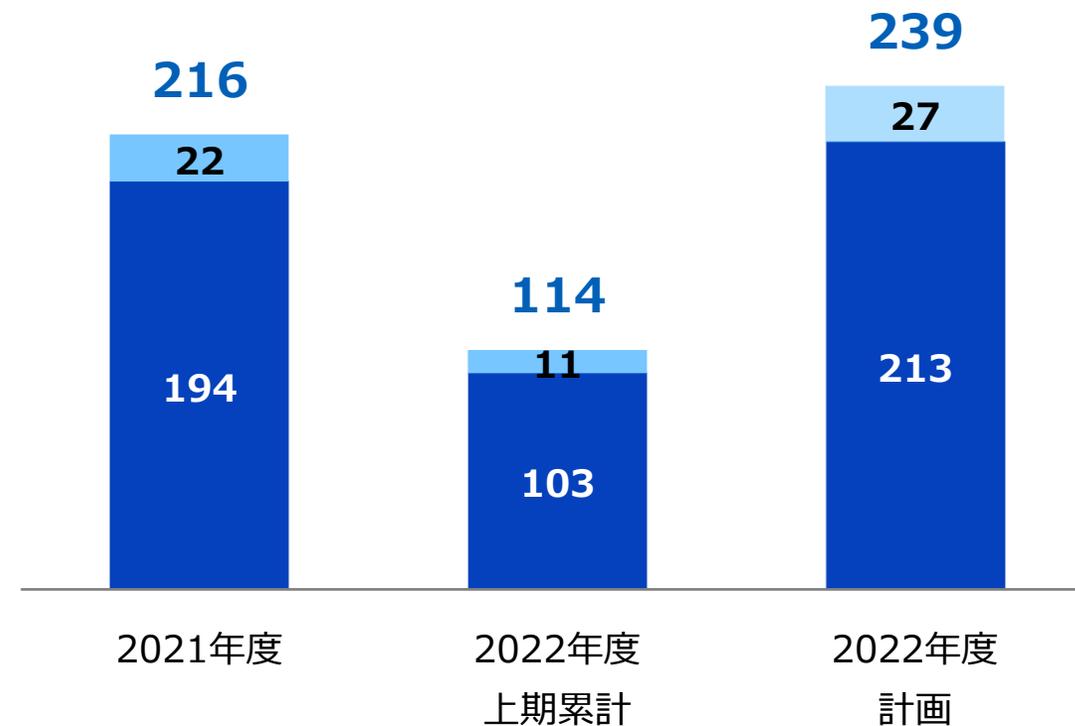
**減価償却費：239億円**

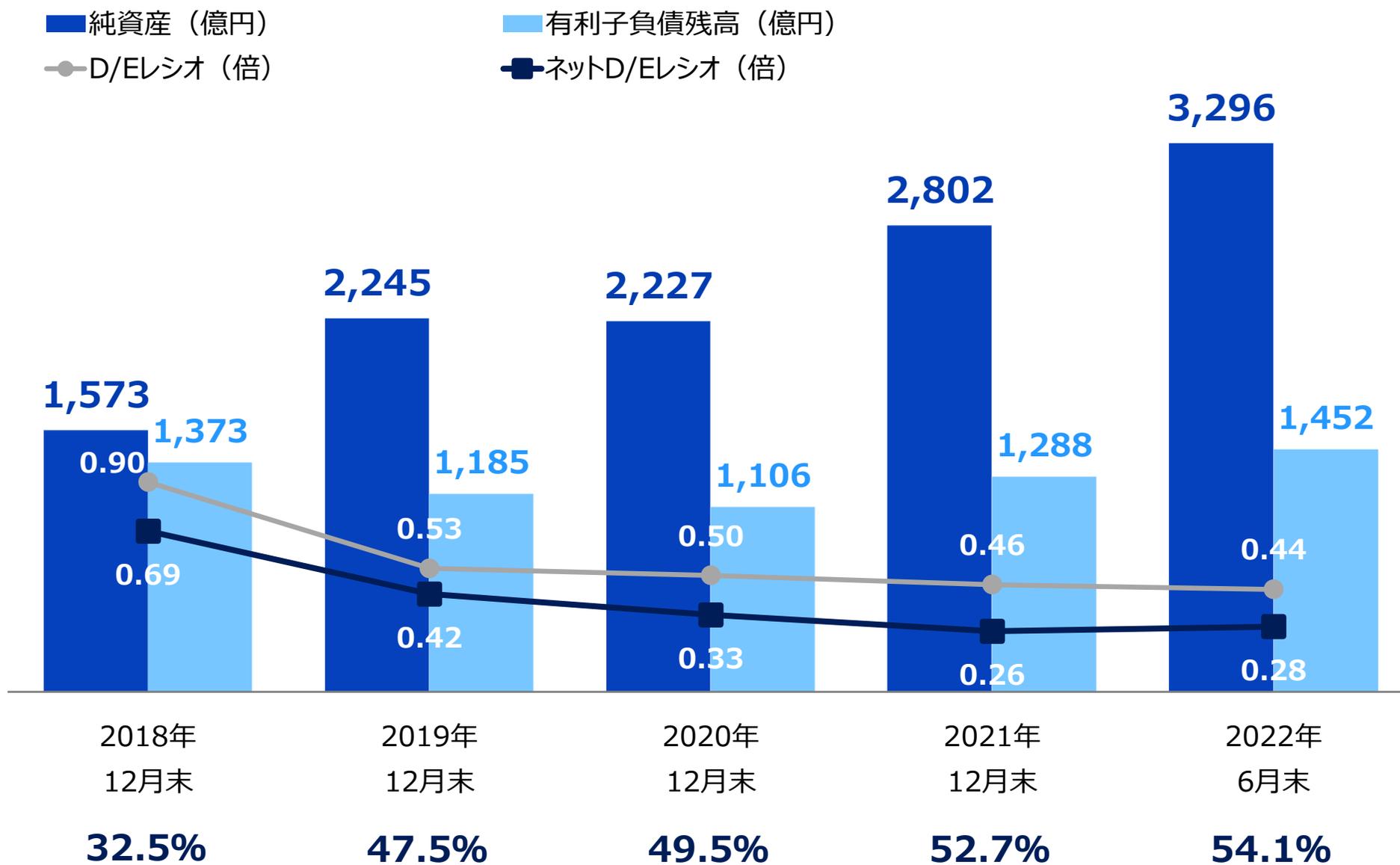
---

第2四半期時点計上率 = **47.7%**  
(内、タイヤ：48.4%/自動車部品他：40.7%)

(億円)

■ タイヤ ■ 自動車部品他





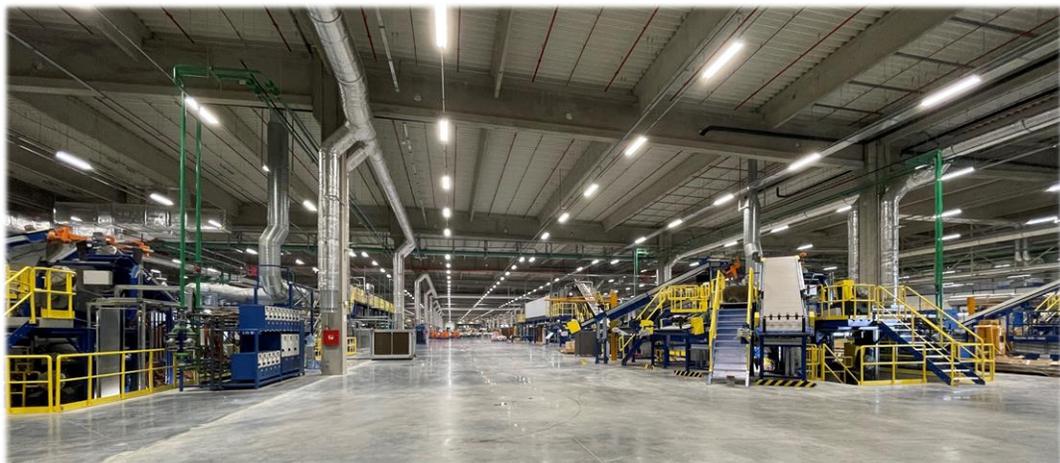
1. 2022年度 第2四半期実績

2. 2022年度 通期業績予想

**3. トピックス**

高いコスト競争力を有し、500万本体制確立へ (2023年9月～)

7月27日、稼働開始 (8月、工場出荷開始)  
→年内は需要旺盛な米国へ優先供給



## ② 堅調に推移する米国販売を支える取り組み

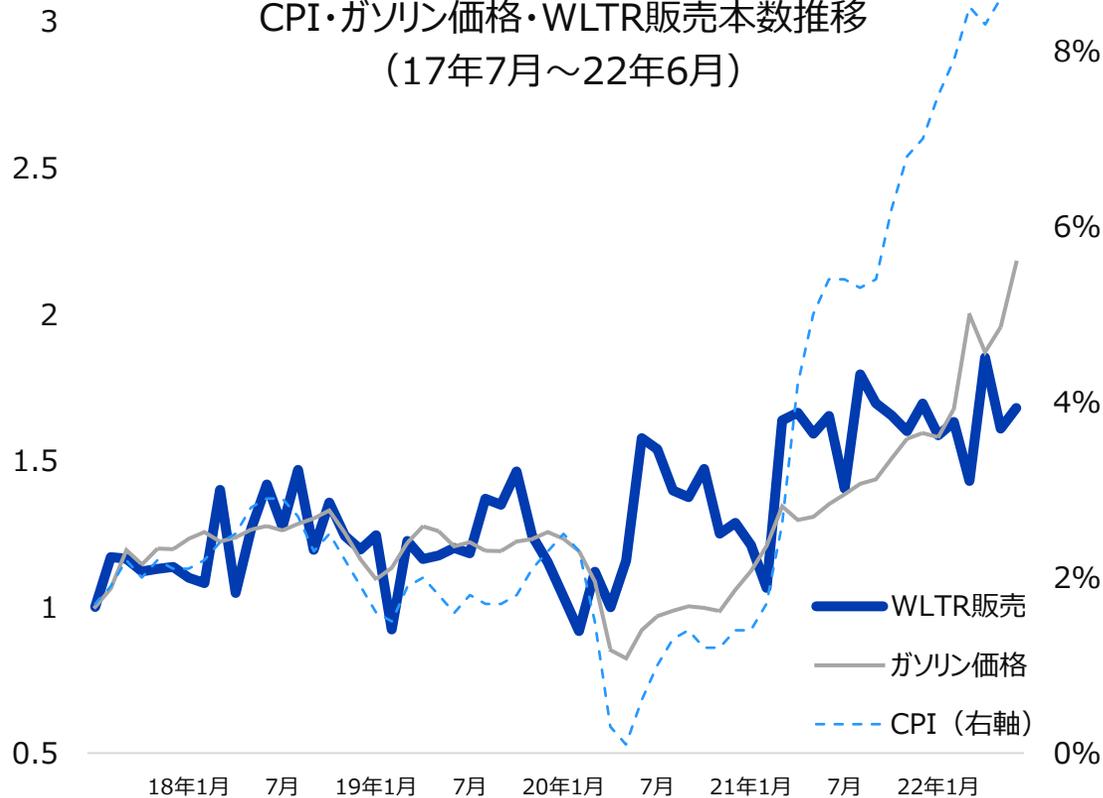
景気急回復・ウクライナ問題に伴う  
消費者物価指数 (CPI) ・ガソリン価格の上昇



### WLTR\*需要・販売本数は底堅く推移

\*WLTR=ワイドライトトラック用タイヤ

CPI・ガソリン価格・WLTR販売本数推移  
(17年7月～22年6月)



WLTR販売数量 : 17年7月販売本数を1とする  
 ガソリン価格 : 米国労働統計局が公表する無鉛レギュラーガソリンの17年7月価格を1とする  
 CPI : 米国労働統計局が公表する前年同月比の増減率

### TOYO・NITTOツートップブランドのきめ細かな商品ラインアップ°

TOYO TIRES



OPEN COUNTRY A/T°



OPEN COUNTRY R/T



OPEN COUNTRY M/T

On-Road

Off-Road



TERRA GRAPPLER G2



RECON GRAPPLER A/T



RIDGE GRAPPLER



Trail Grappler M/T



Mud Grappler

NITTO

### SNSでの発信によるファンとの交流と過酷なレースで培ったブランド力

Instagramフォロワー数 (単位: 万)

TOYO TIRES 199

NITTO 51

A社 69

B社 56

C社 32

\*2022年8月5日現在 (当社調べ)



世界屈指の過酷なレース  
SCORE BAJA 1000  
参戦チームをサポート

## OPEN COUNTRY A/T<sup>III</sup> (2022年7月発売)

さまざまな気象条件や路面状況での走行にバランス良く対応するSUV用タイヤ



- 一般道での操縦安定性と快適性を確保  
舗装されていない凸凹のある路面などでも安定した走行をサポート
- 降雪時における性能の向上\*

\*OPEN COUNTRY A/T plus比



## M937

(2022年9月発売)

通年での使用を考慮して開発したコミュニティバス専用スタッドレスタイヤ



- 低速での発進、頻繁な右左折や停止など  
タイヤにかかる負荷の大きい使用環境に対応し耐摩耗性能を向上
- 積雪や凍結した路面における走行性能を確保





(百万円)	2022年度			2015年度 累計	2016年度 累計	2017年度 累計	2018年度 累計	2019年度 累計	2020年度 累計	2021年度 累計
	1-3月	4-6月	上期累計							
55棟	—	—	—	23,063	17,034	608	8,794	—	568	—
99棟	—	—	—	7,386	35,068	12,281	2,360	—	1,698	—
諸費用	136	93	230	12,104	10,418	3,156	4,858	3,365	3,507	989
補償費用等	—	—	—	4,119	4,260	2,590	1,516	645	1,406	94
<b>合計</b>	136	93	230	46,674	66,781	18,637	17,529	4,010	7,178	1,083

注) 55棟 : 2015年3月13日公表分、99棟 : 2015年4月21日公表分

## 項目内訳

<b>2022年度 4-6月実績</b>	55棟および99棟における交換用の免震製品代金や改修工事費用 : 計上なし 諸費用 (主として免震ゴム対策本部人件費等) : 93百万円計上
<b>2022年度 7月以降</b>	現時点で合理的に金額を見積もることが困難なもので、今後発生する費用がある場合には、対処進行状況等によって追加計上する可能性あり
<b>交換・改修の実績 (6月末日現在)</b>	55棟 (G039) : 54棟着工 (うち製品交換の完了 54棟) 99棟 (G039以外) : 97棟着工 (うち製品交換の完了 96棟)

再発防止策の進捗状況につきましては、四半期ごとに当社ホームページでの公表を継続して参ります。

IR情報 [一覧](#) >

- 2022.07.12 [更新情報](#) ▶ IR カレンダーを更新致しました。
- 2022.05.12 [適時開示](#) ▶ 2022年度第1四半期決算説明資料 (3,239KB) [PDF](#)
- 2022.05.12 [適時開示](#) ▶ 業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ (206KB) [PDF](#)

[新型コロナウイルス感染拡大に関する対応](#) >      [メールニュース配信登録](#) [PDF](#) >

[! 重要なお知らせ](#) >      [免震ゴム/防振ゴム問題への対応について](#) >

## 免震ゴム／防振ゴム問題への対応について

このたびの免震ゴム問題、および防振ゴム問題により、多くの関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしていますことを心より深くお詫び申し上げます。一日も早くご負担の解消、問題の解決を実現できるよう真摯に尽力してまいります。これから、一人ひとりが固い意志を持って「再発防止の徹底と継続」に取り組み、そして、「世の中に求められる企業」に生まれ変わるよう、グループをあげて再生を果たしてまいります。

**新着情報**

2022.05.12 [ページ更新](#) ▶ 免震ゴム問題の「交換・改修に向けた進捗について」を更新しました

- 免震ゴム／防振ゴム問題への対応について
- ▶ [信頼回復に向けて](#)
- ▶ [免震ゴム問題への対応について](#)
- ▶ [防振ゴム問題への対応について](#)
- ▶ [関連プレスリリース](#)
- ▶ [進捗報告](#)

## 進捗報告

### ● 再発防止策の進捗について (2022年5月12日公表分)

- 品質保証改善並びにコンプライアンス啓発強化
  - 全事業にわたる全社的監査の継続 >
  - CI明石工場のコミュニケーション活動 >
  - 品質保証・管理体制の構築 >
  - 生産拠点における作業・監督体制/教育の継続 >
  - コンプライアンス強化徹底 >
- コーポレート基盤の継続的改善、充実
  - ガバナンスの強化徹底 >
  - 不正行為の早期探知、危機管理の実践 >
  - 社員教育の徹底と企業風土の抜本的改革 >

免震ゴム/防振ゴム問題への対応について → 進捗報告  
( <https://www.toyotires.co.jp/responsibility/progress/> )

**TOYO TIRES**

# 2022 NÜRBURGRING ENDURANCE SERIES

Round 3 SP10 クラス優勝



**PROXES**

# ***TOYO TIRES***

本資料に掲載されている業績予想や計画などの将来にわたる部分については、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことを十分にご認識の上、ご活用下さい。